

令和4年度 障害者支援施設等における 事故報告集計結果

- I 令和4年度の状況
 - 1 事故の内容
 - 2 事故の月別発生件数
 - 3 事故の内容別月別発生件数
 - (1) 骨折の月別発生件数
 - (2) 打撲の月別発生件数
 - (3) 誤薬の月別発生件数
 - (4) 無断外出の月別発生件数
 - (5) 誤嚥の月別発生件数と重症化
 - 4 骨折と打撲における受傷部位
 - 5 事故の施設別発生件数
 - 6 事故の発生事例
- II 令和4年度の重大事故
 - 1 重大事故・死亡事故の割合
 - 2 重大事故の内容
 - 3 重大事故の月別発生件数
 - 4 重大事故の施設別発生件数
- III 年度比較
 - 1 事故報告件数の年度推移
 - 2 事故の内容
- IV その他
 - 1 対象施設一覧

北海道保健福祉部

I 令和4年度の状況

1. 事故の内容

表1 事故の区分 (単位:件、%)

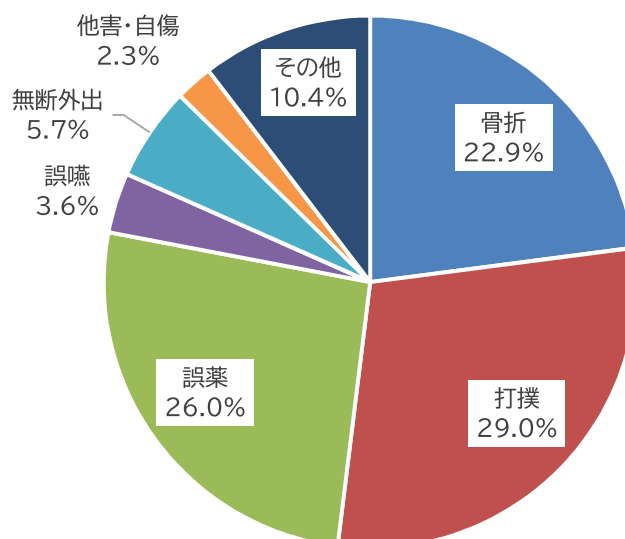
区 分	件数	構成比
骨折 ※1	415	22.9
打撲 ※2	525	29.0
誤薬	471	26.0
誤嚥 ※3	66	3.6
無断外出	103	5.7
他害・自傷	41	2.3
その他	188	10.4
合 計	1,809	100.0

※1 骨折:骨折のほか、腱断裂など全治1ヶ月以上の重傷を含む。

※2 打撲:打撲のほか、裂傷・擦過傷・切傷・刺傷などで、全治1ヶ月未満の軽傷を含む。

※3 誤嚥 : 誤嚥のほか、誤飲、誤食を含む。

グラフ1 事故の区分



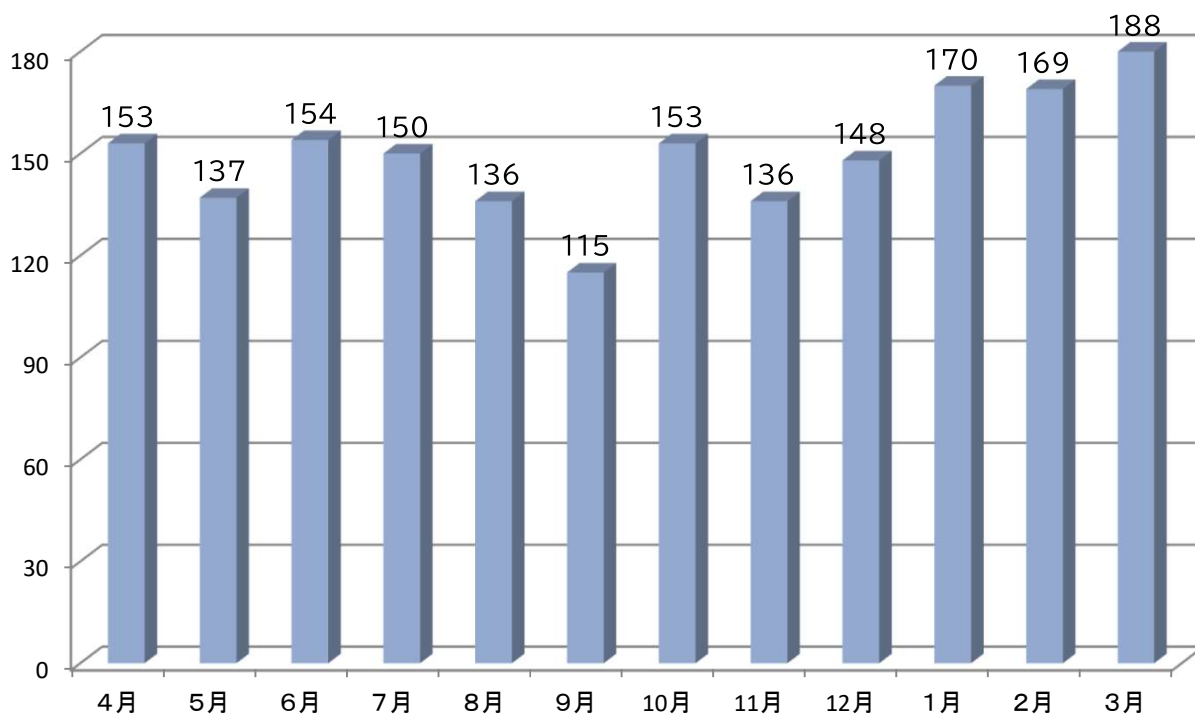
令和4年度の事故報告総数は、1,809件であり前年度(1,825件)に比べ0.9%の減少であった。事故で最も多かったのは「打撲」の525件(29.0%)で、次いで「誤薬」の471件(26.0%)、「骨折」の415件(22.9%)、の順となっている。

2. 事故の月別発生件数

表2 事故の月別発生件数 (単位: 件、%)

月	件数	構成比
4月	153	8.5
5月	137	7.6
6月	154	8.5
7月	150	8.3
8月	136	7.5
9月	115	6.4
10月	153	8.5
11月	136	7.5
12月	148	8.2
1月	170	9.4
2月	169	9.3
3月	188	10.4
合計	1,809	100.0

グラフ2 事故の月別発生件数



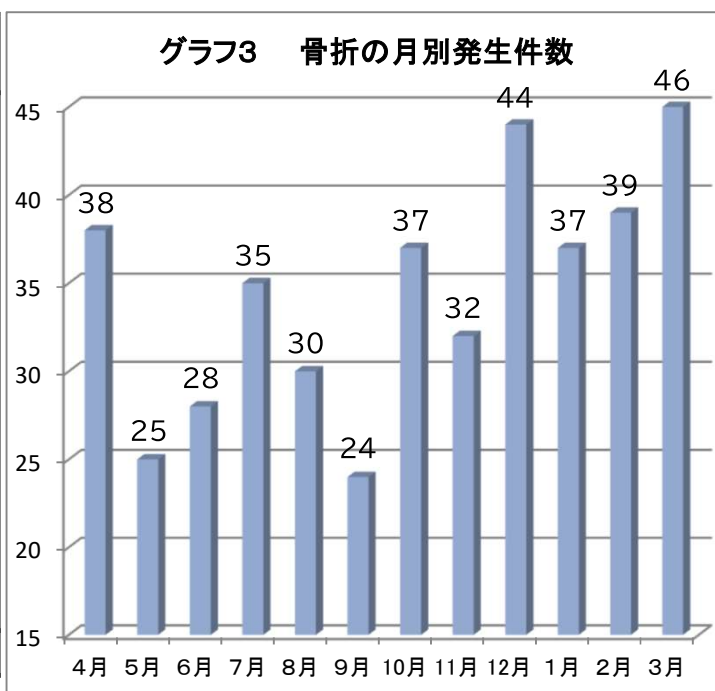
事故の月別発生件数は、3月が188件と最も多く、9月が最も少なく115件となっている。

3. 事故の内容別月別発生件数

(1) 骨折の月別発生件数(表3)

(単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	38	9.2
5月	25	6.0
6月	28	6.7
7月	35	8.4
8月	30	7.2
9月	24	5.8
10月	37	8.9
11月	32	7.7
12月	44	10.6
1月	37	8.9
2月	39	9.4
3月	46	11.1
合計	415	100.0

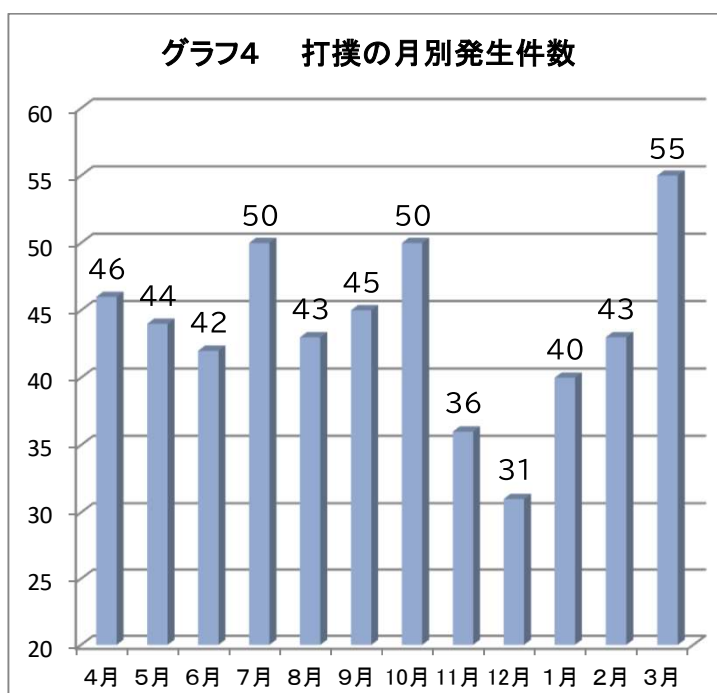


骨折の月別発生件数は、3月が46件と最も多く、9月が24件で最も少なかった。

(2) 打撲の月別発生件数(表4)

(単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	46	8.8
5月	44	8.4
6月	42	8.0
7月	50	9.5
8月	43	8.2
9月	45	8.6
10月	50	9.5
11月	36	6.9
12月	31	5.9
1月	40	7.6
2月	43	8.2
3月	55	10.5
合計	525	100.0

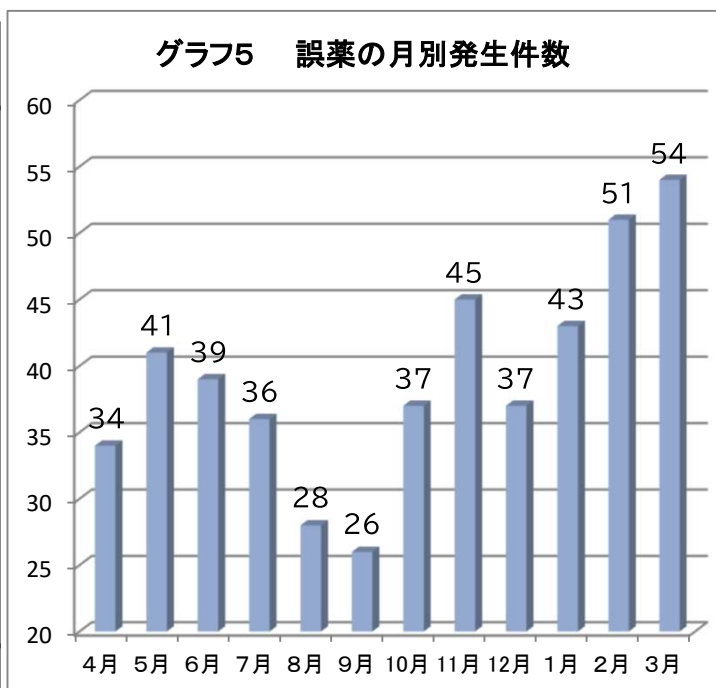


打撲は、3月が55件と最も多く、12月が31件で最も少なかった。

(3) 誤薬の月別発生件数(表5)

(単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	34	7.2
5月	41	8.7
6月	39	8.3
7月	36	7.6
8月	28	5.9
9月	26	5.5
10月	37	7.9
11月	45	9.6
12月	37	7.9
1月	43	9.1
2月	51	10.8
3月	54	11.5
合計	471	100.0

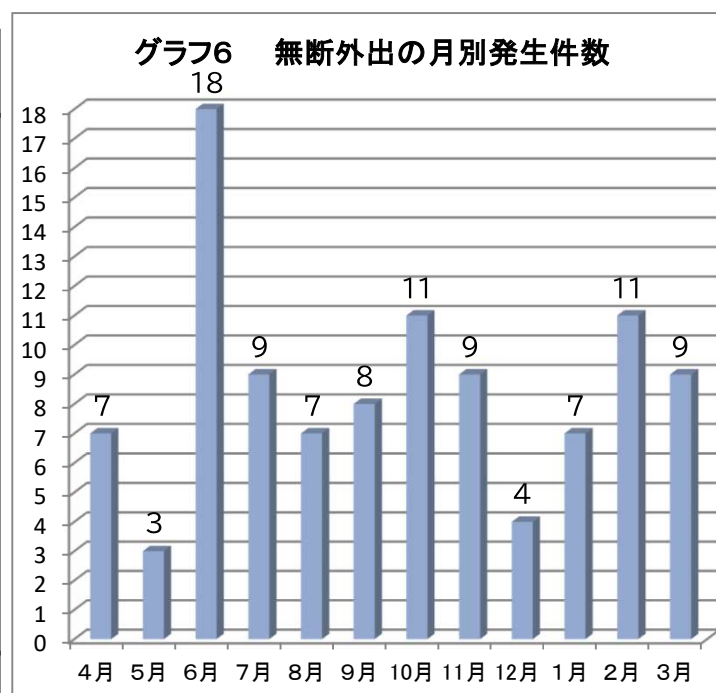


誤薬の年間発生件数は、3月が54件と最も多く、9月が26件と最も少なかった。

(4) 無断外出の月別発生件数(表6)

(単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	7	6.8
5月	3	2.9
6月	18	17.5
7月	9	8.7
8月	7	6.8
9月	8	7.8
10月	11	10.7
11月	9	8.7
12月	4	3.9
1月	7	6.8
2月	11	10.7
3月	9	8.7
合計	103	100.0



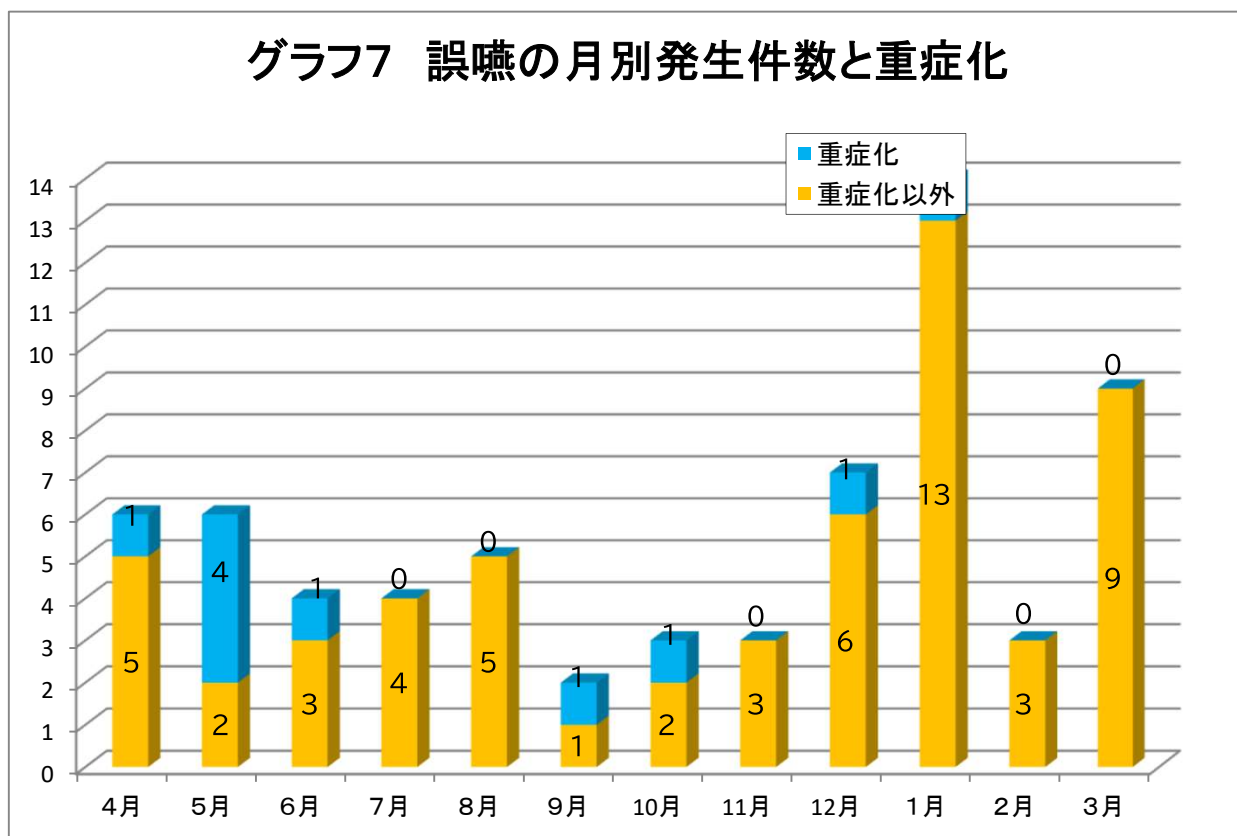
無断外出は、6月が18件と最も多く、5月が3件と、最も少なかった。

(5) 誤嚥の月別発生件数と重症化(表7)

(単位:件、%)

月	件数	左の内訳		
		重症化以外	重症化	重症化の割合
4月	6	5	1	16.7
5月	6	2	4	66.7
6月	4	3	1	25.0
7月	4	4	0	0.0
8月	5	5	0	0.0
9月	2	1	1	50.0
10月	3	2	1	33.3
11月	3	3	0	0.0
12月	7	6	1	14.3
1月	14	13	1	7.1
2月	3	3	0	0.0
3月	9	9	0	0.0
合計	66	56	10	15.2

※ 重症化 : 死亡や誤嚥性肺炎による入院など



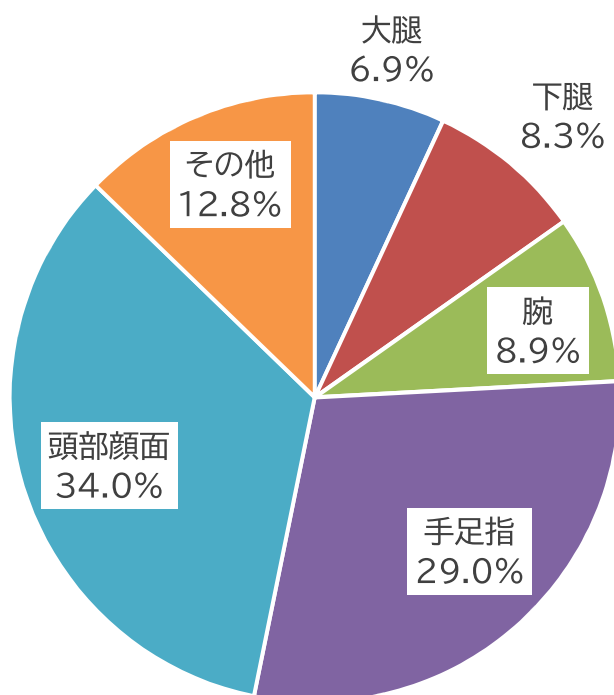
誤嚥の月別発生件数は、1月が14件で最も多く、9月が2件で最も少なかった。また、合計に占める重症化の割合は15.2%となっている。

4. 骨折と打撲における受傷部位

表8 骨折と打撲における受傷部位 (単位:件、%)

区分	件数	構成比	左の内訳			
			骨折		打撲	
			件数	構成比	件数	構成比
大腿	65	6.9	57	13.7	8	1.5
下腿	78	8.3	37	8.9	41	7.8
腕	84	8.9	57	13.7	27	5.1
手足指	273	29.0	166	40.0	107	20.4
頭部顔面	320	34.0	22	5.3	298	56.8
その他	120	12.8	76	18.3	44	8.4
合計	940	100.0	415	100.0	525	100.0

グラフ8 骨折と打撲における受傷部位



骨折と打撲における主な部位では、「頭部顔面」が34.0%と最も多く、次いで「手足指」が29.0%となっている。

また、骨折の受傷部位は「手足指」が40.0%と最も多く、打撲の受傷部位は「頭部顔面」が56.8%と最も多かった。

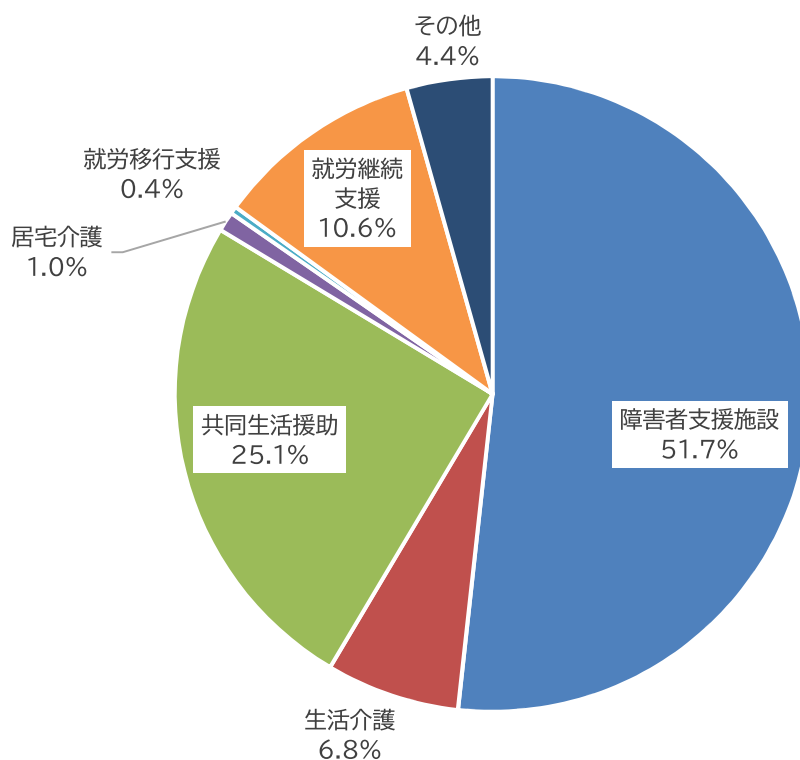
5. 事故の施設別発生件数

表9 事故の施設別発生件数

(単位: 件、%)

区 分	件数	構成比
障害者支援施設	936	51.7
生活介護	123	6.8
共同生活援助	454	25.1
居宅介護	18	1.0
就労移行支援	7	0.4
就労継続支援	192	10.6
その他	79	4.4
合 計	1,809	100.0

グラフ9 事故の施設別発生件数



事故の施設別発生件数は、「障害者支援施設」におけるものが51.7%(936件)で最も多く、次いで、「共同生活援助」の発生件数が、25.1%(454件)となっている。

6 事故の発生事例

(1) 骨折・打撲

施設区分	事 故 概 要
障害者支援施設	足下側のベッド柵が外れ、ベッドから転落し後頭部を打撲。
障害者支援施設	食堂で車いすから椅子へ移乗の際に右膝から右足首を捻らせ右脛骨・骨幹部骨折。
障害者支援施設	業テーブルに電動車椅子でぶつかり、その際に左手を痛め、左手第1指基節亀裂骨折と診断。
共同生活援助	居室内ベッドより立ち上がろうとした際に左足首を捻る。左足首骨折。
生活介護	屋外で足を滑らせ尻もちをつき転倒。病院受診し12番胸椎圧迫骨折の診断。

(2) 誤薬・誤嚥

施設区分	事 故 概 要
障害者支援施設	アイスクリームの中心部が硬いままで塊を飲み込んでしまい喉つまりを起こす。吐き出すも発熱で救急搬送。軽度誤嚥性肺炎と診断。
障害者支援施設	夕食後が入っているケースを確認し片付けようとした際、錠剤が1錠残っており、飲み忘れが発覚。
共同生活援助	他の利用者から薬を受け取り服用してしまった。

(3) 無断外出

施設区分	事 故 概 要
障害者支援施設	近所のコンビニより当該利用者が店にいると連絡があり、無断外出が発覚。すぐに職員が駆けつけ保護。
障害者支援施設	敷地内のゴミ捨てに向かい、職員が見ていない間に無断外出。歩道を歩いているところを保護。

Ⅱ 令和4年度の重大事故

1. 重大事故、死亡事故の割合

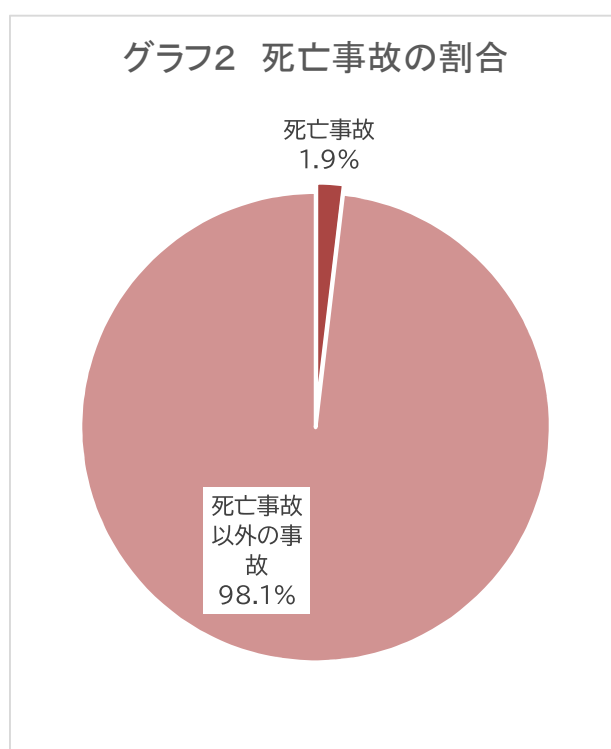
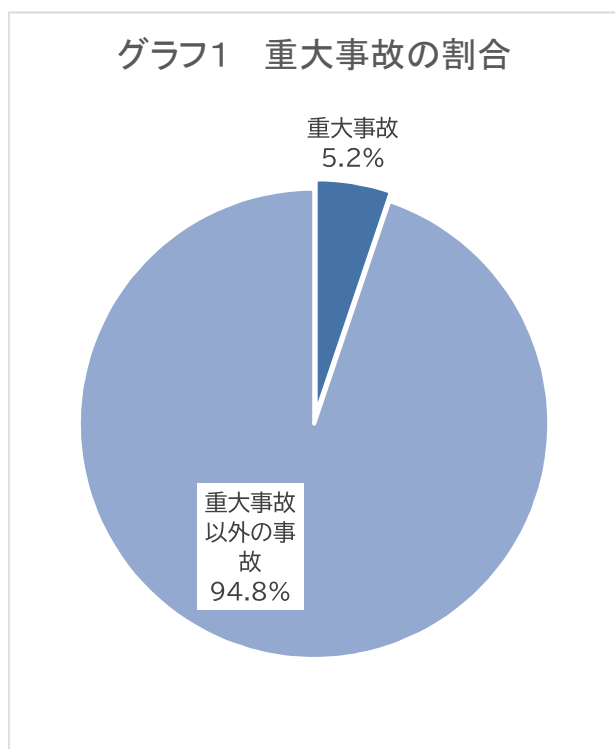
表1 重大事故の割合 (単位: 件、%)

区 分	件数	構成比
		重大事故
重大事故以外の事故	1,715	94.8
合 計	1,809	100.0

※ 重大事故 : 死亡事故、不法行為、虐待、行方不明等

表2 死亡事故の割合 (単位: 件、%)

区 分	件数	構成比
		死亡事故
死亡事故以外の事故	1,775	98.1
合 計	1,809	100.0



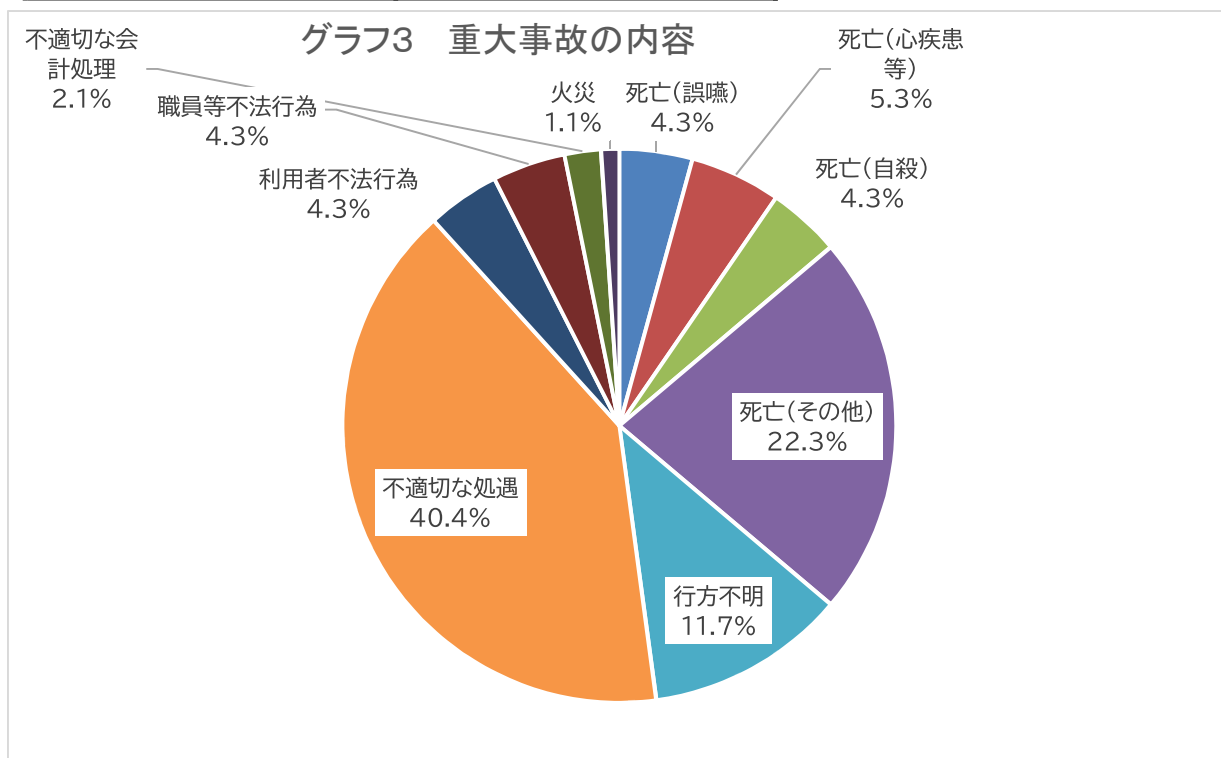
重大事故の事故報告総数は94件で、全体に占める割合は、5.2%であり、老人施設等と比べて高い割合になっている。

また、死亡事故の事故報告総数は34件で、全体に占める割合は1.9%、重大事故に占める割合は36.5%となっている。

2. 重大事故の内容

表3 重大事故の内容 (単位:件、%)

区 分	件数	構成比
死亡(誤嚥)	4	4.3
死亡(心疾患等)	5	5.3
死亡(自殺)	4	4.3
死亡(その他)	21	22.3
行方不明	11	11.7
不適切な処遇	38	40.4
利用者不法行為	4	4.3
職員等不法行為	4	4.3
不適切な会計処理	2	2.1
火災	1	1.1
合 計	94	100.0

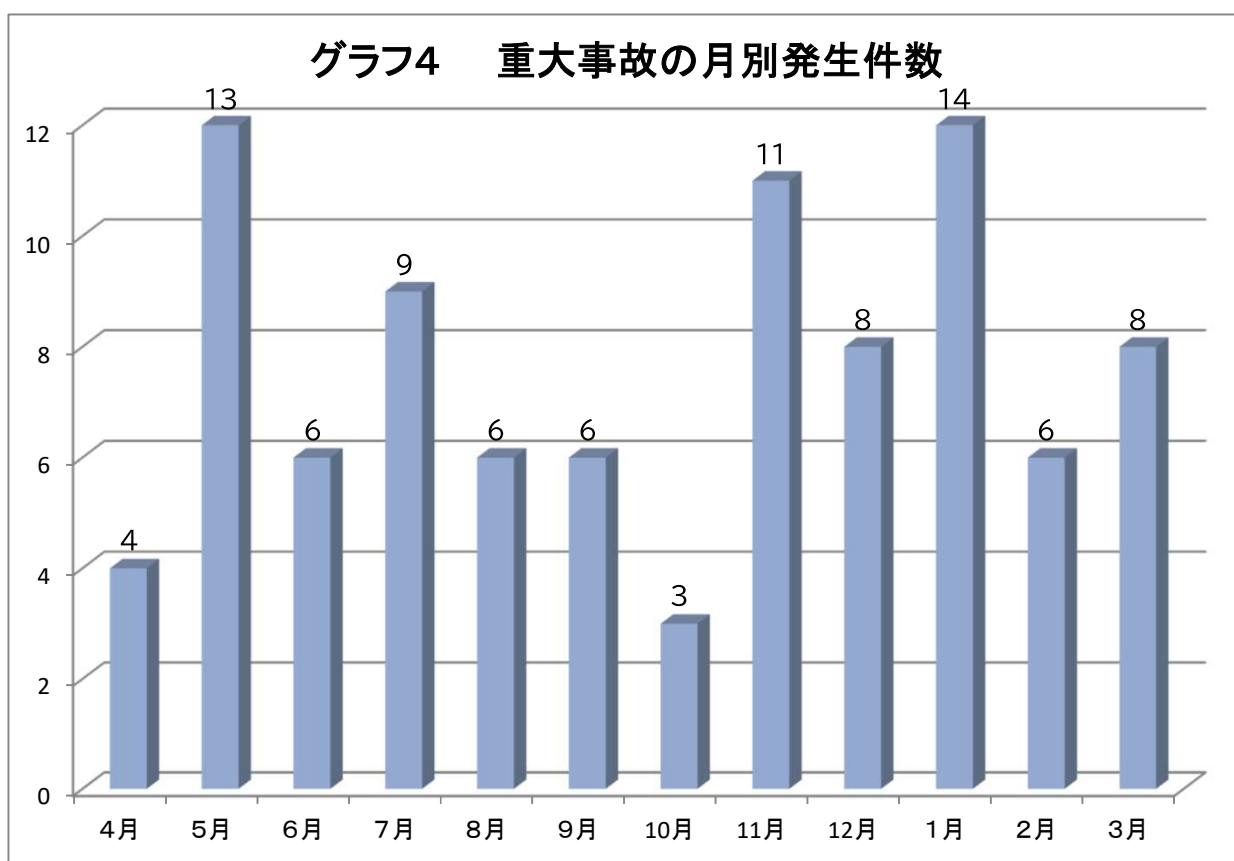


重大事故の内容については、「不適切な処遇」が最も多く全体の40.4%(38件)を占めている。

3. 重大事故の月別発生件数

表4 重大事故の月別発生件数 (単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	4	4.3
5月	13	13.8
6月	6	6.4
7月	9	9.6
8月	6	6.4
9月	6	6.4
10月	3	3.2
11月	11	11.7
12月	8	8.5
1月	14	14.9
2月	6	6.4
3月	8	8.5
合計	94	100.0



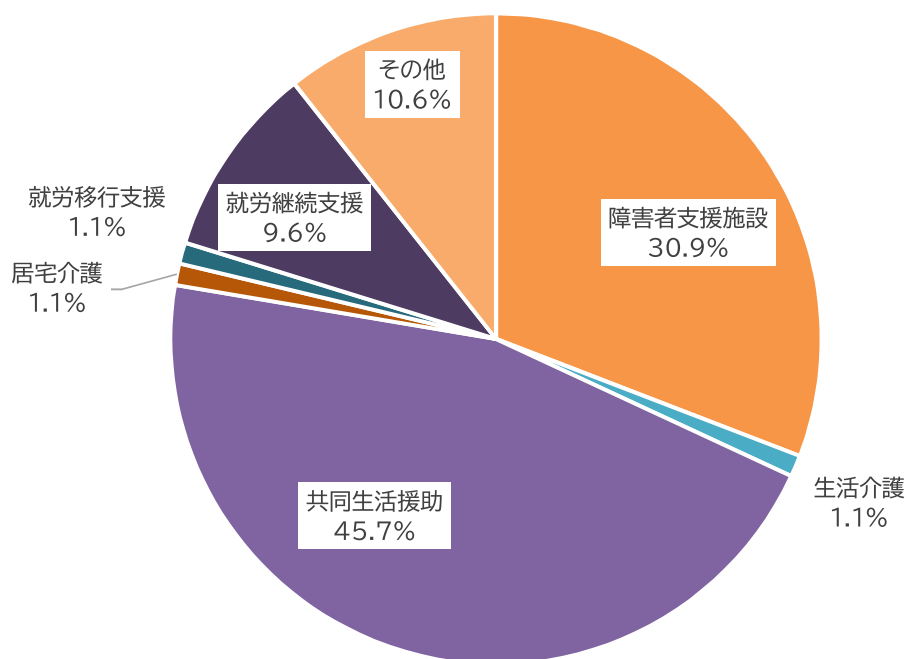
重大事故の月別発生件数は、1月が14件と最も多く、最も少ないのは10月の3件となっている。

4. 重大事故の施設別発生件数

表5 重大事故の施設別発生件数 (単位: 件、%)

区 分	件数	構成比
障害者支援施設	29	30.9
生活介護	1	1.1
共同生活援助	43	45.7
居宅介護	1	1.1
就労移行支援	1	1.1
就労継続支援	9	9.6
その他	10	10.6
合 計	94	100.0

グラフ5 重大事故の施設別発生件数



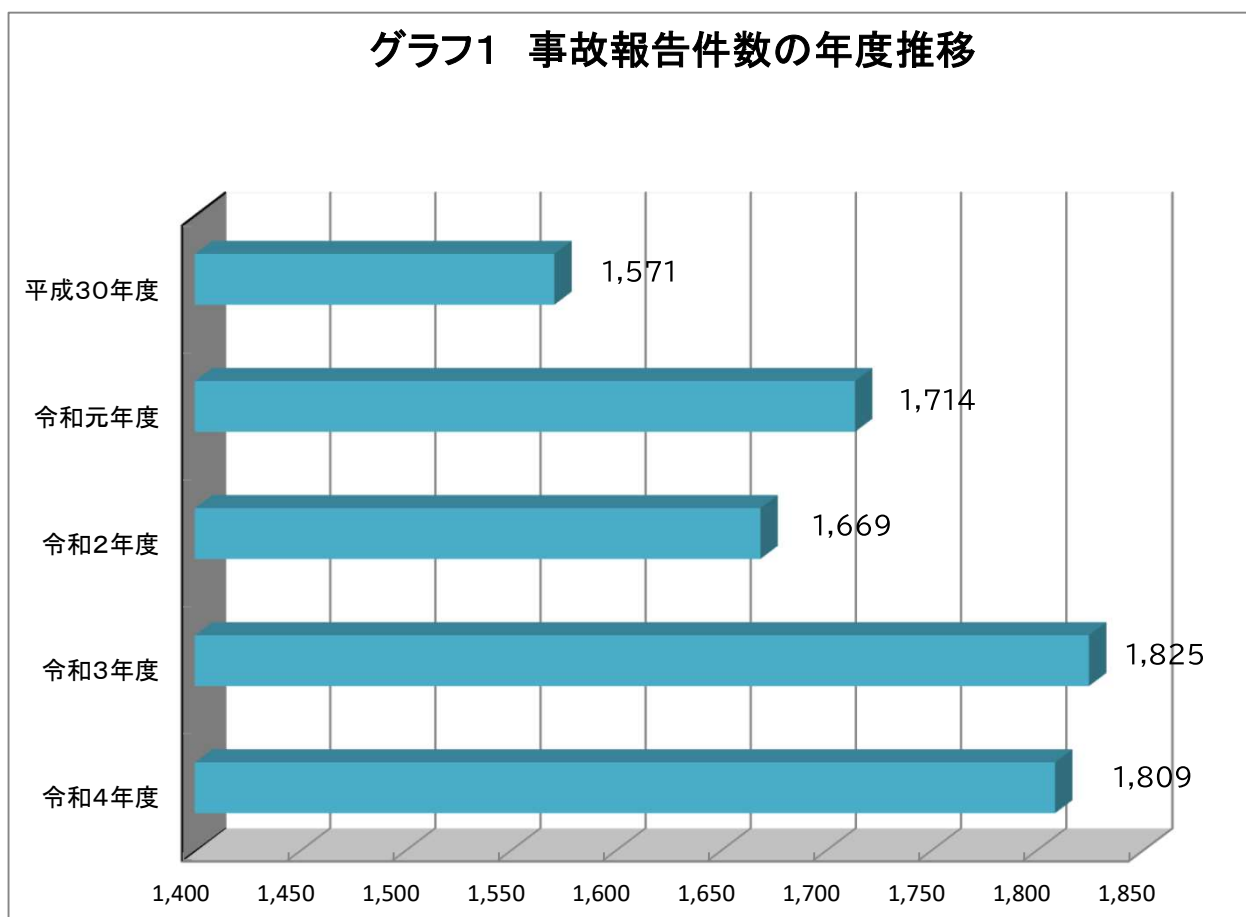
重大事故の施設別発生件数は、「共同生活援助」が43件(45.7%)、「障害者支援施設」が29件(30.9%)と多く、全体の7割以上を占めている。

Ⅲ 年度比較

1. 事故報告件数の年度推移

表1 事故報告件数 (単位:件、%)

区 分	件数	対前年比
令和4年度	1,809	99.1%
令和3年度	1,825	109.3%
令和2年度	1,669	97.4%
令和元年度	1,714	109.1%
平成30年度	1,571	97.9%

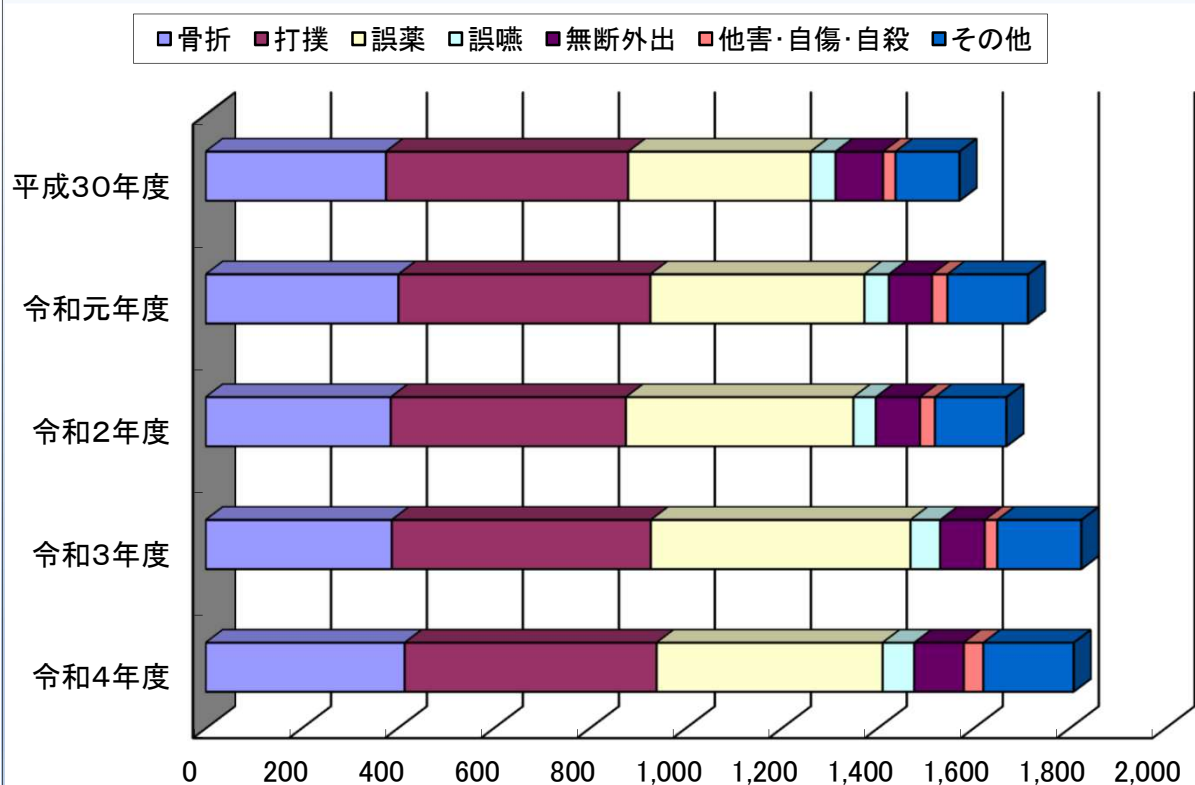


2. 事故の内容

表2 事故内容の年度推移 (単位: 件)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
骨折	376	402	386	388	415
打撲	505	525	490	540	525
誤薬	380	446	474	541	471
誤嚥	52	51	47	62	66
無断外出	99	90	92	93	103
他害・自傷・自殺	26	32	31	26	41
その他	133	168	149	175	188
合計	1,571	1,714	1,669	1,825	1,809

グラフ2 事故内容の年度推移



IV その他

1. 対象施設一覧

居宅介護
重度訪問介護
同行援護
行動援護
療養介護
生活介護
短期入所
重度障害者等包括支援
自立訓練(機能訓練)
自立訓練(生活訓練)
就労移行支援
就労継続支援A型
就労継続支援B型
共同生活援助
障害者支援施設
一般相談支援
特定相談支援
移動支援
地域活動支援センター
福祉ホーム
盲人ホーム
その他